

中小企業景況調査結果

2020年度 第Ⅱ期 (2020年7月～9月)	… 実績
2020年度 第Ⅲ期 (2020年10月～12月)	… 見通し

2020年10月



福島商工会議所

1. 調査要綱

(1) 景況調査について

本調査は、福島商工会議所管内の景気動向を把握するために、会員事業所を通して四半期毎の景況をアンケートの方法によって調査し、集計値をDIで表示したものである。

※DIとは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値

(2) 今回の調査対象期間

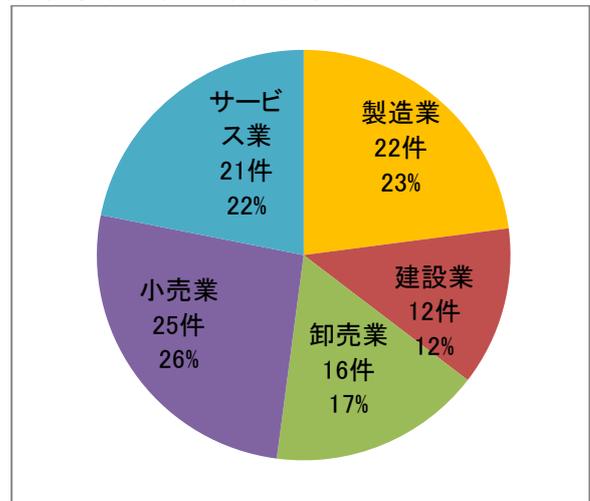
2020年度 第Ⅱ期 (2020年7月～9月)

第Ⅰ期			第Ⅱ期			第Ⅲ期			第Ⅳ期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
今回実績						来期見通し					

(3) 調査件数

福島市内会員事業所 調査対象事業所数 104件 有効回答事業所数 96件 (回答率 92.3%)

業種	有効回答事業所数	割合
製造業	22件	22.9%
建設業	12件	12.5%
卸売業	16件	16.7%
小売業	25件	26.0%
サービス業	21件	21.9%
合計	96件	100.0%



(4) 調査内容

調査項目	比較方法	比較期間
売上	(前期比)	前期(2020年4月～6月) ⇔ 今期(2020年7月～9月)
業況	(前期比)	前期(2020年4月～6月) ⇔ 今期(2020年7月～9月)
	(今期)	今期(2020年7月～9月)
採算	(前年同期比)	前年同期(2019年7月～9月) ⇔ 今期(2020年7月～9月)
設備投資	(実施した割合)	今期(2020年7月～9月)の実施有無と件数
従業員	(過剰・不足)	今期(2020年7月～9月)の過不足

2. 詳 細

景況感概要

今回の調査結果では、売上及び業況については前期より改善したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として深刻な状況が続いている。

管内の設備投資についても、前期比で3.8ポイント増加、来期予測も横ばいであるため、前期比で10.0ポイント減少した前期（第I期）から改善した。

管内の従業員の過不足については、過剰が前期から2.9ポイント減少、不足が2.5ポイント減少する結果となっており、新型コロナウイルス感染症の影響による従業員の雇用状況の悪化が継続している。

（結果要約表）

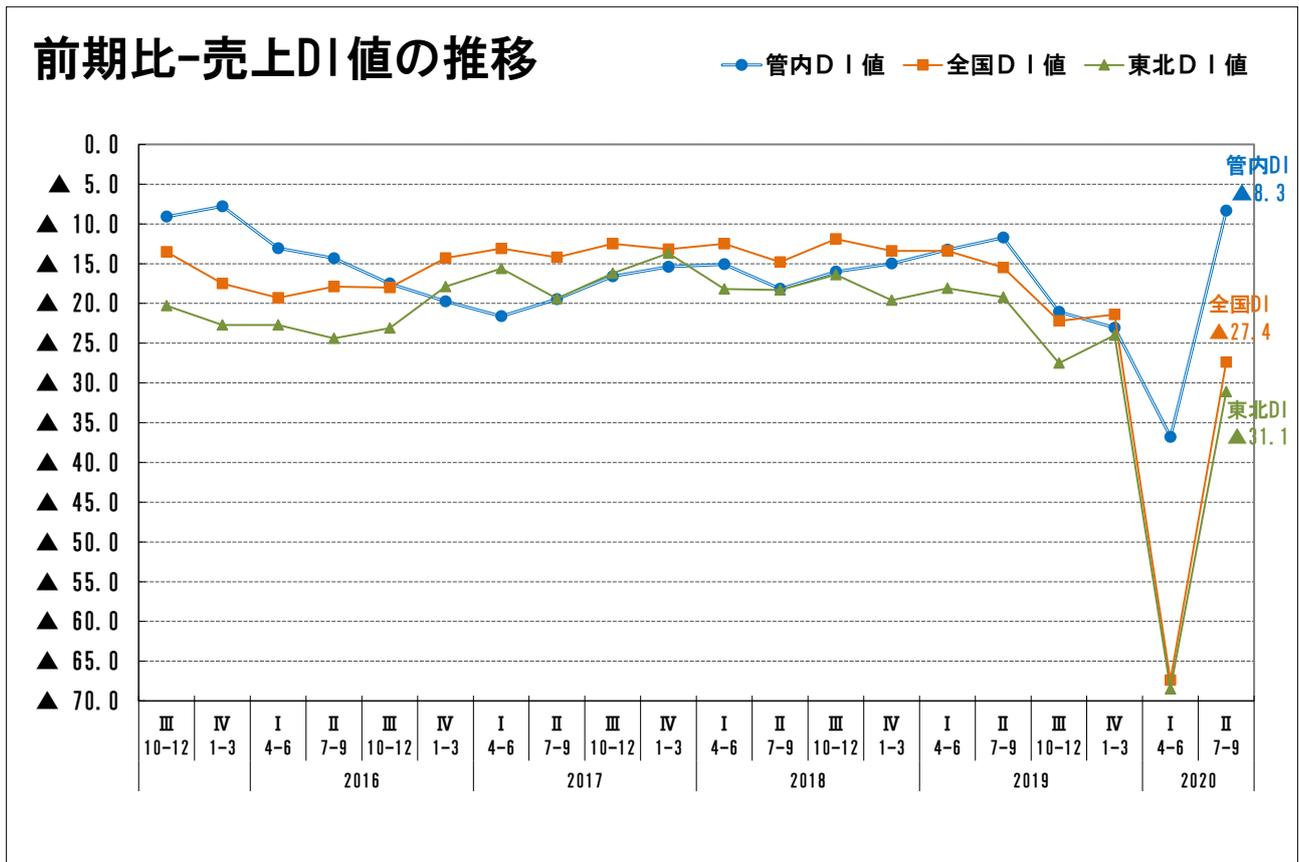
調査項目	比較方法	D I 値/割合 (前回D I 値) ※前回原数値	状況
売 上	(前期比)	▲ 8.3 (▲ 36.8)	・前期比28.5ポイント増加 ↑
業 況	(前期比)	▲ 14.6 (▲ 28.2)	・前期比13.6ポイント増加 ↑
	(今 期)	▲ 50.0 (▲ 39.8)	・前期比10.2ポイント減少 ↓
	(来期予測)	▲ 36.5 (▲ 40.9)	・前期比4.4ポイント増加 ↑
採 算	(前年同期比)	▲60.4 (▲36.9)	・前期比23.5ポイント減少 ↓
	(来期予測)	▲53.1 (▲48.6)	・前期比4.5ポイント減少 ↓
設備投資	(実施した割合)	27.1% (23.3%)	・前期から3.8ポイント増加 ↑
従 業 員	(過 剰)	14.6% (17.5%)	・前期から2.9ポイント減少 ↓
	(不 足)	19.8% (22.3%)	・前期から2.5ポイント減少 ↓

2-1. 前期比-売上DI値の推移

■全国、東北、管内全てで、マイナス幅が縮小

※売上DIは「増加」企業の割合から「減少」企業の割合を引いた値

調査期間	2018年度		2019年度				2020年度		前期比増減
	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	
全国DI値	▲ 11.9	▲ 13.4	▲ 13.4	▲ 15.5	▲ 22.2	▲ 21.4	▲ 67.4	▲ 27.4	40.0
東北DI値	▲ 16.4	▲ 19.6	▲ 18.1	▲ 19.2	▲ 27.5	▲ 24.0	▲ 68.5	▲ 31.1	37.4
管内DI値	▲ 16.0	▲ 15.0	▲ 13.3	▲ 11.7	▲ 21.1	▲ 23.1	▲ 36.8	▲ 8.3	28.5



2-2. 前期比-業況(自社)DI値の推移

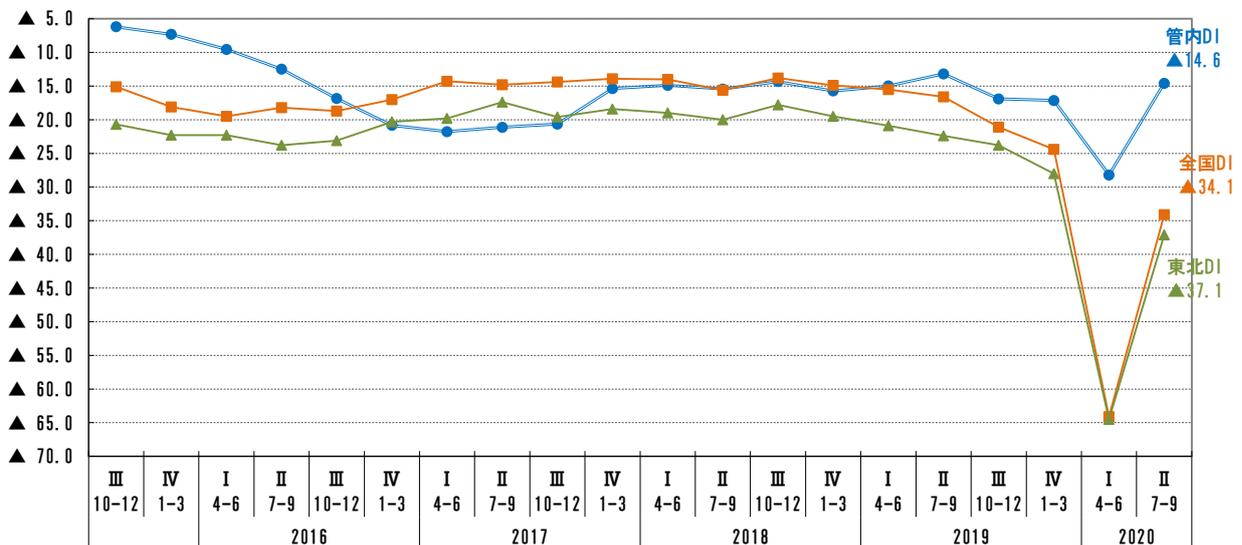
■全国、東北、管内全てで、マイナス幅が縮小

※業況DIは景気が「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値

調査期間	2018年度		2019年度				2020年度		前期比増減
	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	
全国DI値	▲ 13.8	▲ 14.9	▲ 15.5	▲ 16.6	▲ 21.1	▲ 24.4	▲ 64.1	▲ 34.1	30.0
東北DI値	▲ 17.8	▲ 19.5	▲ 20.9	▲ 22.4	▲ 23.8	▲ 28.0	▲ 64.5	▲ 37.1	27.4
管内DI値	▲ 14.3	▲ 15.7	▲ 15.0	▲ 13.2	▲ 16.9	▲ 17.1	▲ 28.2	▲ 14.6	13.6

前期比-業況DI値の推移

●管内DI値 ■全国DI値 ▲東北DI値

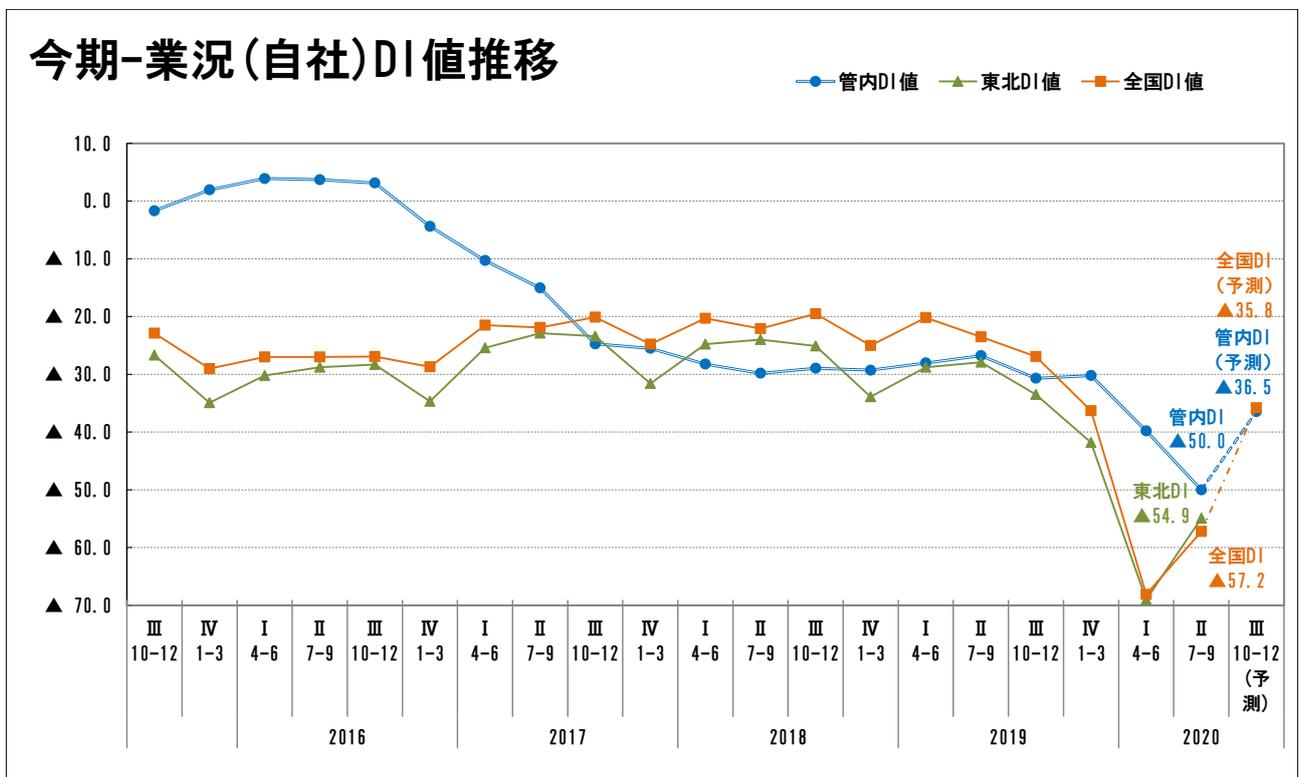


2-3. 今期-業況(自社)DI値の推移

- 全国・東北では、マイナス幅が縮小
- 管内では、マイナス幅が拡大
- 来期予測は、全国・管内いずれも改善へ

※業況DIは景気が「良い」と答えた企業の割合から「悪い」と答えた企業の割合を引いた値

調査期間	2018年度		2019年度				2020年度		
	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月 (予測)
全国DI値	▲ 19.5	▲ 25.0	▲20.2	▲ 23.5	▲ 26.9	▲ 36.3	▲ 68.1	▲ 57.2	▲ 35.8
東北DI値	▲ 25.1	▲ 33.9	▲28.8	▲ 27.9	▲ 33.5	▲ 41.8	▲ 69.0	▲ 54.9	
管内DI値	▲ 28.9	▲ 29.3	▲28.0	▲ 26.8	▲ 30.7	▲ 30.2	▲ 39.8	▲ 50.0	▲ 36.5

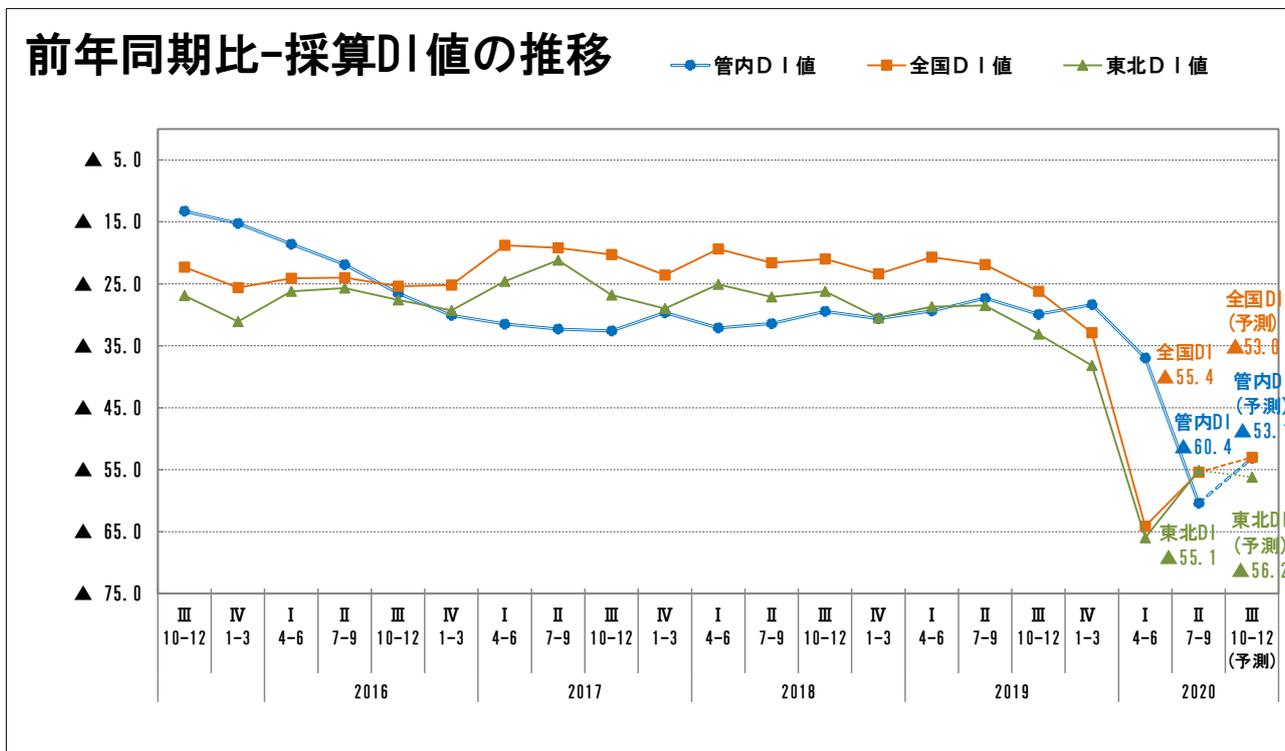


2-4.前年同期比-採算(経常利益)DI値の推移

- 全国・東北では、マイナス幅が縮小
- 管内では、マイナス幅が拡大
- 来期予測は、全国・管内が改善、東北はやや悪化の見込み

※採算DIは、「黒字」企業の割合から「赤字」企業の割合を引いた値

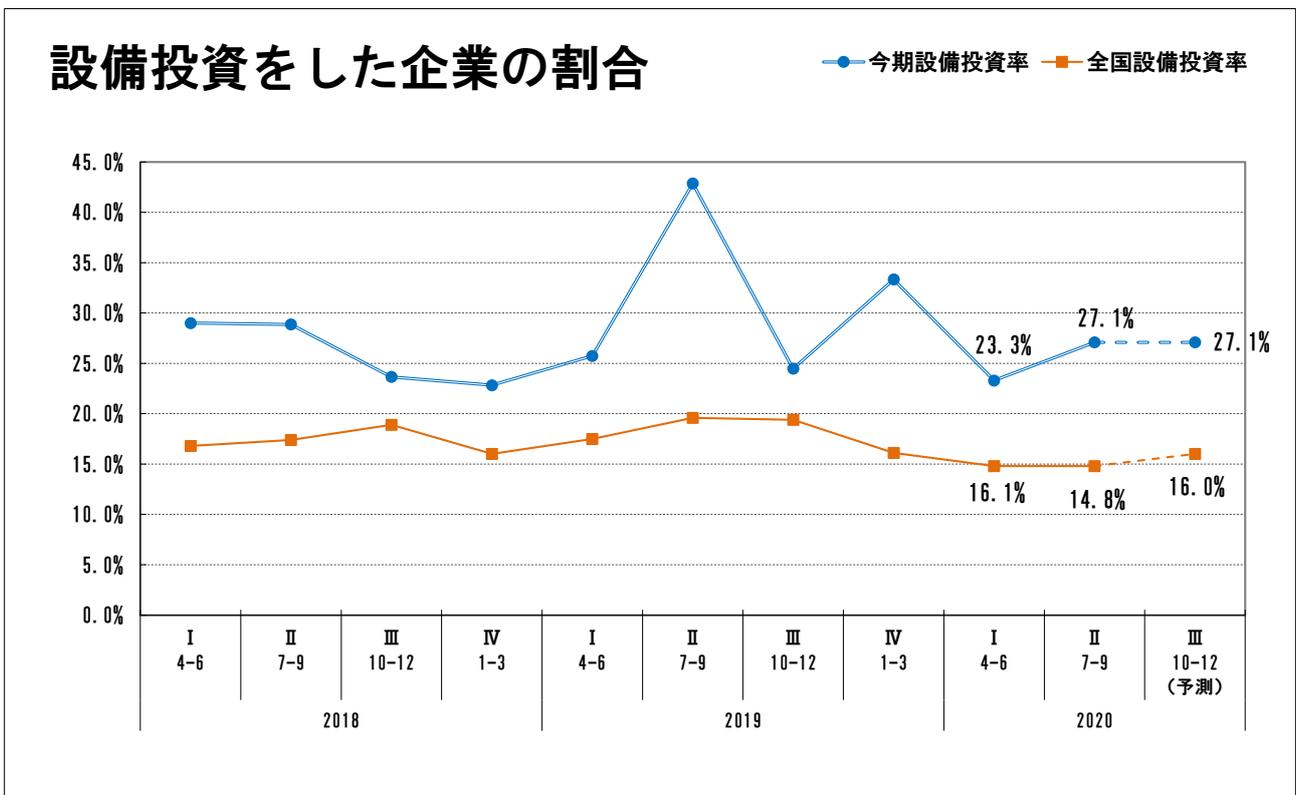
調査期間	2018年度		2019年度				2020年度		
	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月	Ⅳ 1-3月	Ⅰ 4-6月	Ⅱ 7-9月	Ⅲ 10-12月 (予測)
全国DI値	▲ 21.0	▲ 23.4	▲ 20.7	▲ 21.9	▲ 26.2	▲ 32.9	▲ 64.1	▲ 55.4	▲ 53.0
東北DI値	▲ 26.2	▲ 30.5	▲ 28.7	▲ 28.5	▲ 33.1	▲ 38.2	▲ 66.0	▲ 55.1	▲ 56.2
管内DI値	▲ 29.5	▲ 30.6	▲ 29.4	▲ 27.3	▲ 29.9	▲ 28.4	▲ 36.9	▲ 60.4	▲ 53.1



3. その他

3-1. 設備投資

- 管内で設備投資を行った企業は、（実施企業数 24 社 23.3%→）実施企業数 26 社、27.1%で増加
- 来期の設備投資予定は、横ばいの見込み



※設備投資内訳(今期・来期)

■今期設備投資を実施した企業の主な各投資項目を実績ベースで見ると「各種設備」が 12 件、「車両運搬具」11 件、「OA 機器」9 件でその他をあわせた合計は 48 件となった。(前期 36 件)

■来期の設備投資見込みは、「各種設備」、「OA 機器」、「建物・店舗」への投資予定が多く、合計 42 件が見込まれている。

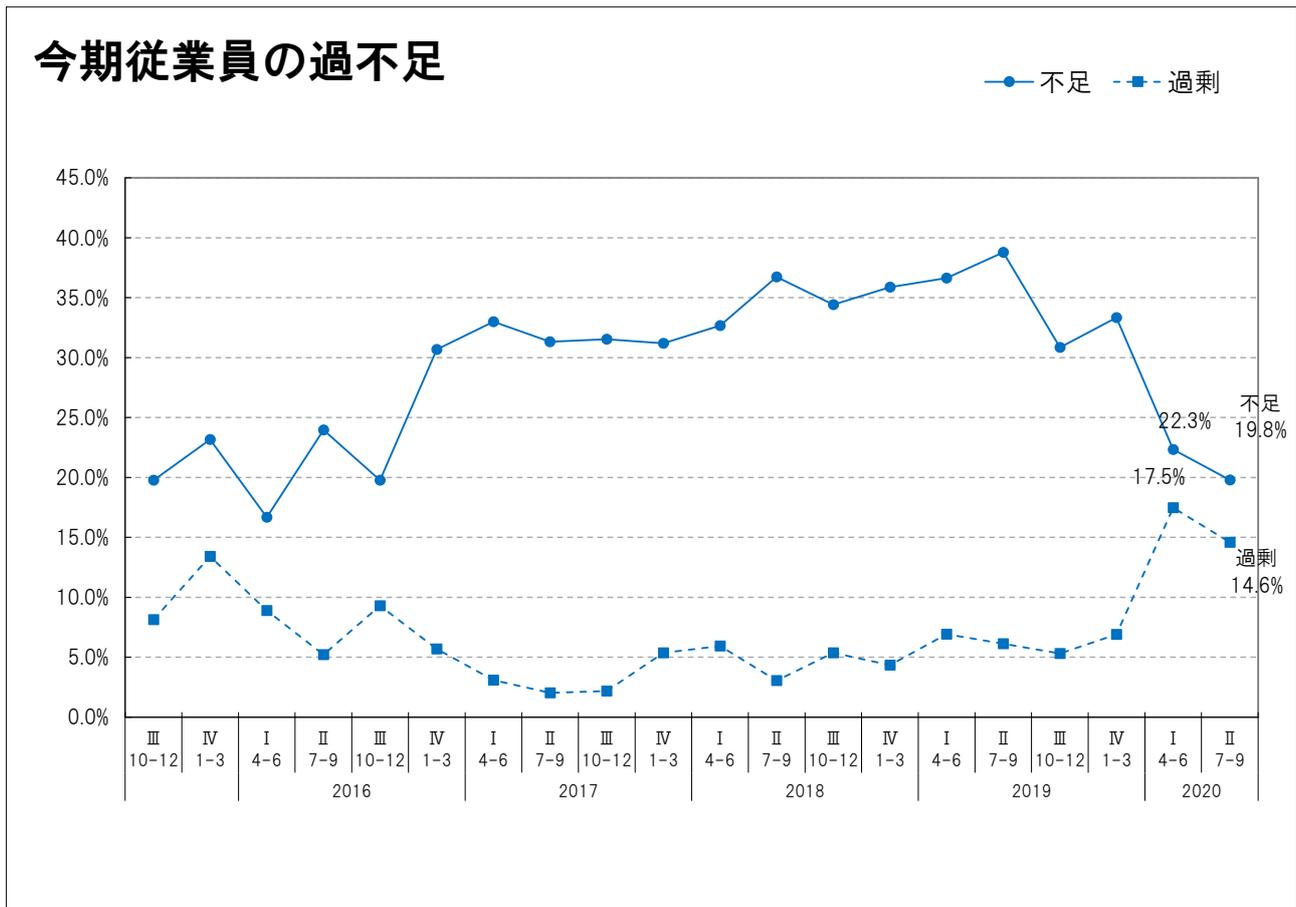
複数回答 単位：件

全業種計	土地	建物・店舗	各種設備	車両・運搬具	付帯施設	OA 機器	福利厚生施設	その他	業種計
今期	0 (2)	7 (7)	12 (5)	11 (7)	4 (1)	9 (10)	4 (1)	1 (3)	48 (36)
来期	1 (0)	7 (5)	16 (7)	6 (3)	1 (3)	9 (7)	1 (0)	1 (2)	42 (27)

※カッコ内数字は前回調査(2020年4-6月)分。各種設備は生産設備、販売設備、サービス設備、倉庫設備等

3-2. 今期従業員の過不足

- 不足は前期 22.3%から今期 19.8%にやや減少
- 過剰は前期 17.5%から今期 14.6%にやや減少



※今期従業員の過不足 業種別内訳

業種	有効回答 事業所数	過剰		不足	
		件数	割合	件数	割合
製造業	22	6	27.3%	1	4.5%
建設業	12	2	16.7%	6	50.0%
卸売業	16	2	12.5%	4	25.0%
小売業	25	1	4.0%	1	4.0%
サービス業	21	3	14.3%	7	33.3%
合計	96	14	14.6%	19	19.8%

3-3. 直面している経営上の問題点(今期・前期)

【上位課題】

需要の停滞

需要の停滞は、全ての業種で顕著な問題となっている。小売業、サービス業では消費者や利用者の「ニーズの変化への対応」も深刻な課題となっている。

経費の増加

製造業並びに卸売業、小売業においては、経費の増加要因となる課題が上位課題となっており、依然として経営環境の厳しさが窺われる。

従業員の確保難・熟練従業員の確保難

建設業において依然として課題となっているほか、サービス業では、「熟練作業員の確保」が上位課題となっている。

※上位3つまでを記載

業種	第Ⅱ期 (2020年7-9月)	第Ⅰ期 (2020年4-6月)
製造業	→ 1位 需要の停滞	1位 需要の停滞
	→ 2位 人件費の増加	2位 人件費の増加
	↑ 3位 原材料費・人件費以外の経費の増加	3位 生産設備の不足・老朽化
建設業	→ 1位 官公需要の停滞	1位 官公需要の停滞
	→ 2位 民間需要の停滞	2位 民間需要の停滞
	→ 3位 従業員の確保難	3位 従業員の確保難
卸売業	→ 1位 需要の停滞	1位 需要の停滞
	→ 2位 販売単価の低下・上昇難	2位 販売単価の低下・上昇難
	→ 3位 代金回収の悪化	3位 代金回収の悪化
小売業	→ 1位 需要の停滞	1位 需要の停滞
	→ 2位 消費者ニーズの変化への対応	2位 消費者ニーズの変化への対応
	↑ 3位 販売単価の低下・上昇難	3位 店舗の狭隘・老朽化
サービス業	→ 1位 需要の停滞	1位 需要の停滞
	→ 2位 利用者ニーズの変化への対応	2位 利用者ニーズの変化への対応
	↗ 2位 熟練従業員の確保難	3位 熟練従業員の確保難

凡例・・・前期と比べて ↑: 上昇 ↓: 下降 →: 変動無 ↗: やや上昇 ↘: やや下降

3-4. 業界の動向に関する各社コメント

製造業

- ① 新型コロナウイルスの終息が見えないのが要因で設備投資が鈍い。関連する公共事業の発注が新型コロナウイルスや災害の影響で激減するのではと危惧している。
- ② 車関連については少し動き出している。
- ③ 合併・淘汰が一段と進み、業界再編が活発になるものと思われる。
- ④ 客先の業況悪化による受注量の減少等が懸念される。

建設業

- ① 経済不安の為、発注を中止（延期）するケースが時々見受けられる。

卸売業

- ① 新型コロナウイルスの影響により、需要停滞が続いている。人員不足感がある。
- ② 飲食業界の需要の低迷が改善されないため、業況の悪化は否定できない。
- ③ 新型コロナウイルスによる経済への影響と政権交代による経済活動の動向を注視したい。

小売業

- ① 需要の低下によるお客様の購買意欲の低下を懸念している。
- ② イベント等による集客ができないため、来店客が少ない。メーカーの生産計画の減少により車両の販売ができない。
- ③ ドラックストアの出店ラッシュの影響が今後出てくる。また、厳しかったお盆商戦に続き年末商戦も厳しくなると予想している。

サービス業

- ① 新たな生活様式へ対応しているが団体が見込めない現状。
- ② イベント等の中止による宿泊需要の激減。宴会、会食の自粛による需要の激減。